

■設計課題

「見捨てられた空間」に建つホスピス

---青山橋高架下の空間---

2009

担当：丸山洋志

1 《課題概要》

今回の課題は、どのような「場所」が人々にとって「よい空間」であり、「悪い空間」なのかを問うことに主眼をおいています。

よい・悪い空間が「住みやすい」「使いやすい」といった類の問い—建築においてこの問題を軽視することはできないにしても——で済まされる問題であるなら話は簡単です。しかし、ここでは建築の生成に関わってくるであろう形而上学的問題としての「よい空間」「悪い空間」を問うています。

つまり、機能性や具体性を超えたところで、「よい空間」「悪い空間」などあるのだろうか、あるとしたらそれは何によって決定されるのだろうかを各自問うてもらいたいです。

課題の敷地は東京・青山ですが、具体的に知ることができない、実際にみることができないということは気にしないでください。課題の敷地にでもならなければ誰も気にとめないほど、大都市ならどこでもある「見捨てられた空間」ですから。

イメージがわからない・・・

むしろ、この課題は、曖昧かつはっきりしない状態をイメージ（否定的な意味で使っている）という言葉で逃げ切る、むずかしく言うなら「曖昧な精神性を根拠にしてしまう思考回路」に学生達が挑戦して欲しい・・・

それ故に、こちらで用意した敷地資料で十分と考えております。

反対に、どこにでもある「見捨てられた空間」にすら及ぶ優れた喚起力としての「イメージ」（肯定的な意味で使っている）をここで持つべきであると考えています。課題のプログラムもまったく同様の問題を含んでいますので。

想像力の喚起を誘発する（はず）の本来の「イメージ」ではなく、一切の想像力を押し込める浅ましいイメージ「群」あるいはイメージの「制度」。後者の否定的な意味でのイメージで敷地周辺を説明するならば、当敷地にかかる青山橋は

表参道

ファッショナブル・人工的・華やか・リッチ
自由そうに見える個人

のデッド・エンド地点である。橋を越えた青山墓地は

荒廃した（昔の）墓地
死の臭い
不自由な空間

となるでしょう。アドルフ・ロースは「建築」とは墓か記念碑でしかないと言いました。建築は「記念碑」として「生」の自由さをそのまま求める、あるいは「墓」として「死」にゆく存在を、時間・空間の容器で保護しようとするしかないものであろうか。敷地は、そんな実の「記念碑（群）」と実の「墓（群）」の中間に「見捨てられた」ままに、「未成の状態」で存在しています。

※参考課題に関しては第1回の授業で紹介いたします。

2 《課題内容》

「12床の完全独立型ホスピスを設計する。」

【計画地】

港区青山4丁目 外苑西通り 青山橋高架下

計画地は青山墓地と根津美術館の高台を外苑西通りが谷状に縦断した窪地にあり、両側の高台を結ぶ形で十数メートル上方を都道が東西に交差している。この高架下の橋脚の立ち並ぶ空き地を当該課題の計画地とする。

周辺は猥雑ではあるものの緑の多い閑静な住宅地であり、対照的に高架やその橋脚のつくり出す土木的スケールが強調されている。

敷地近くには慶應大学病院があり、基本的にはこの大学病院の希望患者のためのホスピスであると想定している。

3 《設計条件》

a)敷地：別紙

b)延床面積：1000㎡程度

c)構造：自由（鉄骨造、RC造、またそれらの混構造）

d)規模：原則、平屋建て・2階建て

（あくまでも原則。それ以外は避難経路を考慮すること。）

e)必要用途：下記の資料を参考に設計を行う。

要求面積内であれば、下記の所用室以外の空間を付加し、提案してもよい。

1.医療・看護ゾーン

医療・看護・患者の動線を考慮すること。

1-1.床室（洗面台・トイレ付き、個室）12部屋×15～25㎡	200㎡
1-2.ナースステーション	30㎡
1-3.診察室（外科・内科）	15㎡
1-4.診察室（歯科）	15㎡
1-5.作業療法室	20㎡
1-6.薬剤室	10㎡
1-7.医療相談室・面談室2部屋×10㎡	20㎡
1-8.カンファレンス室	10㎡
1-9.看護師休憩室	15㎡
1-10.医局（医師控え室）	15㎡

1-11.準備処置室	5㎡
1-12.汚物処理室	10㎡
1-13.浴室（一般浴室・介助浴室・機械浴室）・脱衣室	30㎡
1-14.トイレ（職員用・車椅子・患者・家族用）	
1-15.洗濯室	10㎡
1-16.美容室	6㎡
1-17.家族台所・給湯室	10㎡
1-18.談話室・ラウンジ（患者たちの談話、家族との談話、ボランティアとの談話）	20㎡
1-19.家族室（患者死亡前の宿泊・遠方の来客の宿泊・付き添い者の休憩、和室）5部屋×20㎡	100㎡
1-20.デイルーム（多目的室）	60㎡
1-21.食堂	40㎡
1-22.厨房	20㎡
1-23.器材（車椅子・ストレッチャー置場）	
1-24.リネン庫	10㎡
1-25.自販機コーナー	
1-26.喫煙室	

2.福祉ゾーン

医療ソーシャルワーカーを基本に、患者や家族のケアを意図する空間・時間プログラムを提案する。

2-1.面談室	20㎡
2-2.その他	120㎡

3.ボランティアゾーン

ボランティアの活動をメインに、患者や家族の日常生活を豊かにする空間・時間プログラムを提案する。

3-1.面談室	20㎡
3-2.その他	120㎡

4.管理ゾーン

4-1.事務室（常勤職員3人、非常勤職員3人）	40㎡
4-2.応接室	10㎡
4-3.会議室	15㎡
4-4.ホスピス長室	15㎡
4-5.控え室・休憩室	15㎡
4-6.機械室	

5.屋外ゾーン

5-1.駐車スペース（送迎マイクロバス2台分、普通乗用車2台分）

4 《提出物》

- 1) 表紙：科目名／課題タイトル／学籍番号
／氏名
- 2) 面積表：建ぺい率、容積率、設計趣旨
- 3) 配置図：青山墓地・青山橋を含めて敷地全
体。建物部分は屋根状で表現。
[縮尺 1/400]
- 4) 各階平面図：[縮尺 1/200]
- 5) 断面図：2面以上。[縮尺 1/200]
- 6) 立面図：1面。[縮尺 1/200]
- 7) パース：内観および外観を各1枚ずつ。
- 8) 模型：青山橋も製作すること。[縮尺
1/200]

※提出詳細は授業で再度説明します。